



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 井 上 裕 貴
幹 事 中 谷 徹 雄 会 報 委 員 長 大 原 文

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2230

2015-5-14

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

2014-2015年度国際ロータリー会長 ゲイリー C.K. ホアン

本日の例会) 5月14日(第3例会)

●例会日・時間・場所変更

5月15日→5月14日

IM 第8組合同夜間例会 18:00～20:00

場 所 ホテルニューオオタニ大阪 2階

9時からIM順に愛のパレードから始まりキッズダンス、危険ドラッグ撲滅サミット、各種フォーラム、チャリティーコンサート等盛りだくさんのプログラムでした。また、中之島中央公会堂にある特別室は天井及び壁にいざなぎ、いざなみの絵画があり日本創生物語の趣のある部屋でした。

次週のお知らせ) 5月22日(第4例会)

●卓話 「マイナンバー制度について」

来年からスタートするマイナンバー制度について、現在わかっていること、準備すべきことを検討します。

梅崎道夫会員

●次年度理事会 11:30～12:10

シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

◆委員会報告◆

①「社会奉仕委員会」報告

社会奉仕委員長 中尾吉計

●第25回大阪城南ロータリークラブ会長杯 囲碁・将棋大会が東成区老人福祉センターで4月25日(土)午前9時30分より午後4時まで行われました。

競技開始前、東成警察署の宮本警部補より交通安全のお話をいただきました。

大会は非常に盛り上がりおりました。当日、挨拶いただいた井上会長、お手伝い頂きました山口会員はじめ皆様ありがとうございました。

●ロータリーフェスティバル 愛のパレードが5月5日(火)午前9時から行われました。当クラブから13名の参加ありがとうございました。

●大阪府生野聴覚支援学校への図書の寄贈ですが、4月末現在218冊いただきました。

近々寄贈式を予定しています。ご協力ありがとうございました。

次々週のお知らせ) 5月29日(第5例会)

●卓話 「RI研修リーダーとして国際協議会に参加して」

岡部泰鑑会員

先週の記事) 5月8日(第2例会)

●出席報告

出席会員 41名 (内免除会員 11名)

会員総数 50名 (同上 16名)

ゲスト 1名

ビジター 0名

計 42名

ホームクラブ出席率 91.11%

4月17日(第3例会)補正出席率 97.62%(MU 3名)

●ゲスト&ビジター(敬称略)

シェイ(青少年交換留学生)

②「職業奉仕委員会」報告

職業奉仕委員長 小林正啓

職場見学のご案内をさせていただきます。

来る6月12日(金)例会終了後、大阪府立大学の植物工場へご案内申し上げます。

バスを利用し約30分で着きます。見学が1時間です。現地解散としますが、ホテルまで帰ってくることも可能です。2時間強みて頂ければと思います。是非皆様のご参加、宜しくお願い致します。

③「IM実行委員会」報告

山下健三会員

2月21日に行われましたIMのDVDが完成しましたので本日ポストさせていただきます。

これで、IM実行委員会の行事は終了です。皆様、ご協力有難うございました。

◆会長挨拶◆

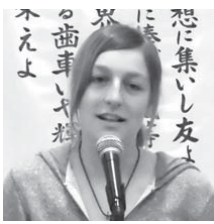
上会員が黄綬褒章を受章されました。

5月5日のロータリーフェスティバルが中之島公園一帯で開催されました。

中之島まつりと一緒になったので大勢の人でした。

会員増強にご協力を!!

◆ シエイさん挨拶 ◆



みなさん、こんにちは。
 5月3日から5月5日まで私はロータリーのイベントで和歌山に行きました。
 リーダーシップの話をしました。英語でもリーダーシップのテーマは本当に難しいですから、日本語ではもっと難しいです。ぜんぜんわかりませんでした。しかし、ライラはとても楽しかったです。みんなは素晴らしかったです。私はたくさんの友達ができてとてもうれしいです。ありがとうございました。

卓話

5月8日 <第2例会>

「砂糖についてⅢ」



村上(武)会員
 前回(2年半前になりますが)に引き続き、一般の方々が砂糖について思い込まれている間違ったイメージを今回も少しでも払拭したいと考え、「砂糖についてⅢ」ということで本日の卓話を担当させていただきます。

前回・前々回の話で「お砂糖を摂ると太る」、「お砂糖を摂るとすぐ虫歯になる」、「お砂糖を摂り過ぎるとバカになる」、「お砂糖を摂り過ぎるとキレル」というのは、いずれも凄く偏った、作られた間違ったイメージだということ、そしてお砂糖や糖化製品は非常に優れた安心・安全な食品であるということを良くお分かり頂けたと思います。また、吸収もされ難い、されない糖アルコールを使った“0(ゼロ)”商品や高感度甘味料を使った商品は普通の健康体の人にとっては良くないどころか悪影響が有りそうだということも分かり出して来ました。

前回も言いましたがコカ・コーラやサントリーやキリン、アサヒ等の飲料メーカーのエンジニアが、糖質を使用せずに高感度甘味料(人工甘味料)だけでおいしい飲み物を開発することは不可能だと言っているのにその商品開発を止めないのは、消費者が“ゼロ”に対してマイナスのイメージを持たず、プラスのイメージに惑わされているからに他ならず、これは賢くなった我々の選択では無いのではないのでしょうか。

カロリー“ゼロ”ということは、体に吸収されず体内を素通りする。要は大量に摂取すると下痢をするということです。また、高感度甘味料は砂糖の200~600倍の甘味度が有る為、そのもの自体砂糖と同じカロリーが有っても低カロリーに抑えられ、カロリーオフの商品やノンカロリー商品に積極的に使用することが出来るのです。

ただ、昨年9月にイスラエルの研究チームが英科学

誌ネイチャー電子版に、人工甘味料で代謝異常が起こり腸内細菌のバランスを崩して血糖値が下がりにくい状態にする作用があるとする研究結果を発表し一部では話題でしたが、一般の方々まではなかなか知られていないのが現状です。米国でもダイエット甘味料を使った菓子や清涼飲料を愛飲している人の方が肥満度が高いという逆の結果も出ているように、人体実験があまりされていないので、メカニズムと効用の解析が定かでない高感度甘味料は口にしない方が絶対に安心で安全だということがこれから更に分かってくるでしょう。

しかし恐ろしいことに、製造原価を下げる為に味が誤魔化せ許せる範囲ならば砂糖を幾ばくか置換するといったことが行われているという事実が出てきているのは、理解しがたいというより、私は許せないのです。

私の会社自身、砂糖をはじめとして、糖化製品や今話題にしている高感度甘味料も含めた、いわゆる甘いモノは全て取扱います。それは特殊疾病の方の為などその機能に即してということで取り扱っていますが。(我々の商売に関係が無いから言うのではないですが)大手メーカーが高感度甘味料を使用するのは理念が無いのではなく、売れば良いからというだけのように思われ、絶対ダメなことだと思うのですが、皆様はこの意見に是非ご賛同頂けないでしょうか。

アレキサンダー大王の時代から約2千4百年間、人体実験により安心・安全を確認した砂糖ほど素晴らしい甘味原料は無いのですから。

それでは皆様、食べ過ぎにはくれぐれも注意をして、甘い物を楽しんでください。

にこにこ箱

5月8日(第2例会)

- 5月7日、平成27年度大阪府知事表彰式典において、松井一郎知事より産業功労者(商工関係)として表彰されました。20年以上にわたる、卸組合の組合活動を評価していただきました。
三木会員
- 2年半ぶりです。つたない卓話ですが、宜しくお願いします。
村上(武)会員
- 満90歳の誕生日を迎えることができました。皆々様のおかげです。感謝、感謝。
西村会員
- 佐伯さん、コンペでは大変お世話になりました。
三宅会員
- 上会員、ご受章おめでとうございます。
尾崎会員
- お祝い23件、早退お詫び1件

(編集担当 武田・大原)